

### 3

## 内田社長とナツパ服

「ようし、完成だ。この部品なら飛行機を飛ばせるぞ。」

従業員七名の工場から歓声があがりました。

「ばんざあい。」

泥まみれ、油まみれの内田社長の笑顔が見えました。

外国のように技術が進んでいなかった当時の日本では、飛行機を飛ばすことはたいへんむずかしいことでした。それを、ついにやりとげた喜びは、小さな小さな工場を活気づけました。（おれの部品でなければ、飛行機は飛べないんだ。）

内田社長は、大きな自信を持ちました。



ナツパ服の社長